

## 【連載：一録音技術者の回顧録 ～アナログからデジタルへ～ 第10回】

## 読者の質問と要望に応じて

日本オーディオ協会諮問委員 穴澤 健明

## X-1. はじめに

前号では、録音プロジェクトでの初期構想と実現できた事柄と題し、1976年から1985年にかけて行ったスメタナ弦楽四重奏団のベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲録音での初期構想と実現できた事柄、1984年から1985年にかけて初期構想を練ったインバル指揮フランクフルト放送交響楽団の演奏によるマーラーの交響曲全曲録音での初期構想と実現できた事柄について記載した。筆者が録音現場を去った後に取り組んだシュヌアの演奏によるベートーヴェンの初期のピアノソナタの録音、昨年から今年にかけて行った映像音楽タイトル「ベルリンフィルの軌跡」での新しい取り組み、ナタニエル・ローゼンの演奏によるバッハ作曲「無伴奏チェロ組曲」の録音と古民家での演奏会での初期構想と実現例についても取り上げた。

本号では、回顧録最終回と言うことで、過去9回にわたっての連載中に本誌読者よりいただいた質問、要望について取り上げる。具体的には、音決めで重要な役割を担うモニタースピーカーとモニター音、安全性を確保するセーフリスニング、ずっと夢と考えられてきた音場再生の現状と将来、今後のコンテンツ流通の可能性等といった事柄について以下に説明を加える。

## X-2. 音決めで重要な役割を担うモニタースピーカーとモニター音

筆者が1974年から1985年までに欧米で行ったデジタル録音では、主にモニタースピーカーの設置されていない教会他の録音会場を使用した。このためモニタースピーカーには、デンマークのフリーの録音プロデューサー、ピーター・ヴィルモースの所有する独K&H社他の放送局用小型アンプ内蔵モニタースピーカーを使用した。このモニター用に徹したアクティブスピーカーは、節度のある高低音のバランスを持っていた。録音中には、演奏者、立会人から個別にモニター音、再生音を聴きたいとの要望が出たため、独ゼンハイザー社製オープンエアタイプの小型軽量ダイナミック型ヘッドフォンも用意していた。

モニタースピーカーも、その設置されたモニタールームの音響条件も当然多種多様な状況にあったため、筆者個人でも、自身の基準となる安定したモニター環境を必要としていた。

この目的のため、筆者はこれまでの約50年間スタックス社の静電型イヤースピーカーSR-1（写真1参照）とその後継機種を、録音評の追認試聴、競合盤との音質及びバランスの比較確認のために使用してきた。このイヤースピーカーは、昭和光音工業株式会社（現スタックス工業株式会社）創立者の林尚武氏によって開発され、1960年に製品化された。筆者も高校生の時代からこの会社の雑司ヶ谷のオフィスを訪問させていただき、林氏の情熱のこもった説明を聞きながら林氏の発明した音響製品を多種聴かせていただいたことを記憶している。このイヤースピーカーは、筆者がヨーロッパでのデジタル録音を実施した1970年代も半ばになると、ヨーロッパ各国のハイファイ協会会員から圧倒的な評価を受けるにまで至っていた。



写真 1. スタックス静電型イヤースピーカーSR-1の外観（イヤープッドのみ最近交換）  
50年間筆者のモニター環境の中枢を担い、今でもほぼ正常に動作している。

### X-2.1. 評論家、愛好家のオーディオシステムとリスニングルームの測定と試聴

録音を行った後にレコードやCDを発売すると、各国で録音評をいただく。いただいた意見を検証するために、機会があれば欧米や国内の評論家や愛好家の再生システムを聴き、測定する機会があれば測定も行わせていただいた。これによって自らの意見と評論家や一般愛好家の意見の違いを把握し、改善に努めるようにしてきた。

大学院の学生であった1960年代の終わりには、雑誌社の依頼により各社の発売する新製品スピーカー他の特性測定を行う機会があった。そのころからレコード会社の現場にも伺わせていただき、参考文献1、2、3に示す様々な録音系の改善を行った。その後1974年には、評論家や愛好家の再生システムやリスニングルームの測定を実際に行う機会にも恵まれた。その例を参考文献5、「再生システム～リスニングルームの総合Dレンジと再生音場の追求＝録音～再生～リスニングルームの現状と問題点とその実測結果」に示すが、この結果がその後の自らの録音活動に大いに役立ったことは言うまでもない。

欧米でのデジタル録音活動では、録音セッションの合間を縫って使用機材の特性を点検しつつ次のプロジェクトで使用する録音機材の設計を行うなど常に改善を心掛けた。

1982年にCDの発売が開始されると、本誌に「アナログ屋ためのデジタル・オーディオ講座」（参考資料6～10）を執筆し、デジタル録音再生機材のハードの基本について説明した。

その後1991年から1992年かけて各国の録音技術者教育機関の実情、各音楽ジャンルの録音技術の状況について関係各氏に「レコードソフトの制作現場」からレポート（参考資料11参照）をしていただいた後、「技術者の取り組むべき課題」（参考資料12参照）を執筆した。

### X-2.2. 1971年ロンドンにて

今から45年以上前の1971年に、欧州での録音を命じられ、日本では8チャンネル程度にとどまっていたマルチトラック録音の時代に、本格的な16チャンネル録音機材を用いたマルチトラック録音の機会を得た。演奏は、シ ril・ステイプルトン・オーケストラで、マントバーニ、スタン

リー・ブラックなどと並ぶ英国を代表するのポップスオーケストラであった。リーダーのステイプルトン、フィルハーモニア管弦楽団の弦楽奏者でフルトヴェングラーやカラヤンの演奏に参加した後、自身のポップオーケストラを組織した。録音セッションの合間の郊外ドライブでは、フルトヴェングラー、カラヤン、デニス・ブレイン、シドニー・サットクリフと言ったフィルハーモニアの伝説上の名演奏家たちの話が聞けたのは収穫であった。

録音の曲目は日本のメロディー集であり、魅惑のブリティッシュサウンドを実現することができた。この時に、念願のブリティッシュサウンドを実現できた理由は 2 つあったように思う。一つはロンドンの豊富な編曲陣にあった。優秀な編曲者が多数存在し互いにしのぎを削っていたのである。当時日本では弦楽アンサンブルの編曲ができる編曲者は数名に限られていたため恵まれた状況をうらやましく思ったことを覚えている。もう一つの理由は充実したモニター環境にあった。世界をリードしていた今から 45 年前のロンドンの中堅録音スタジオでは、民生用スピーカーとのつながりを持つ非常に正統的なモニタースピーカーが使われていた。当時の英国を代表するスコットランドのスピーカー製造会社タンノイ社は、直径 38cm の同軸型スピーカーユニット LSU/HF15 (1974 年より HPD385、後に HPD385A) を開発製造し、民生用分野でこのユニットを使用した Autograph、GRF、Arden、York 他のスピーカーモデルを展開していた。この左右定位能力と高低音のバランスに優れたユニットを録音現場でも生かそうということで、英国ロックウッド社がこのタンノイの 38cm のユニットを使用し、クオード社のアンプを内蔵したモニタースピーカーを開発し、多くのロンドンの中堅録音スタジオに納品され、ブリティッシュサウンドの実現に貢献していた。アコースティックスーパーウーファー構造を持つボックス内に同じユニットを収容し、底面に移動用キャスターを設置したスタジオフロア用のロックウッド・メジャーと呼ばれるスタジオ用スピーカーも導入され、演奏後のスタジオ内でのプレイバックにはこれが使われていた。耐入力レベルの不足などプロ用スピーカーとしての欠点を持っていたが、皮肉にもスタジオ内でのセーフリスニングが実現され、スタジオ用スピーカーと家庭用高級スピーカーの連携が図られた見事な例であった。最新のスタジオの多くが家庭とは全く異なるモニターの状況にあることを考えるとうらやましい状況であった。

このロンドンでの録音の合間を縫って、フランス、ドイツ他のヨーロッパの録音スタジオの視察も行い日本音響学会誌にそのレポート（参考文献 4 参照）を執筆した。

### X-2.3. 日本のスタジオでは

筆者の経験では、日本の録音技術者は、どちらかと言うと低音嫌い高音好きが多い。日本人の神経の行き届いた音作りでは、締まりの良い低音を重視し、締まりがなければ低音を絞り、主として高音からなる音楽のオカズ部分や刺身のツマ部分に凝るという傾向があるように思う。これに対しドイツや英国のエンジニアの多くは音楽を構造的にとらえ、オカズとツマには目をくれず低音部をまず敷設し、その上に中音部そして高音部を乗せて行く。日本にも音楽を構造的にとらえ、その構造を録音物上に生かすことのできる少数の人達がいた。この人たちが、1960 年代に多くのレコード大賞他を受賞し、名作を残し、日本のポップ音楽の黄金時代を築いた。

#### X-2.4. 1977年ニューヨークにて

ロンドンでの録音を行った1971年から6年を経た1977年に念願のニューヨークでジャズのデジタル録音の機会を得た。8チャンネルのパンチイン、パンチアウトも可能な本格的な録音機材を用意し、パパ・ジョー（父ジョー・ジョーンズ）、ソニー・スティット、トミー・フラナガンといった名手たちによる演奏を録音した。スタジオ内での演奏は素晴らしかったのであるが、残念ながら肝心のモニタースピーカーから出てくる音は実際の演奏音とは全く異なるひどい音であった。まずモニター音のレベルが高すぎ、ミキサーは、指で耳を半分ふさぎ悦に入っていたのであるが、レベルを下げて聴くと変化のないコムフィルター歪の目立つつまらない音でしかなく、名演奏が台無しとなり演奏者に大変申し訳ないことをしたといまだに猛省している。この時スタジオの机の上にはマリファナが山のように積まれていた。また多くのジャズミュージシャンはアルコール中毒にかかり、長い時間名演奏を続けることが出来なかった。筆者はこの荒れたニューヨークでの悲惨なサウンドをマリファナサウンドと呼び、その影響が日本にも及ばないようにと念じてきたが、日本でも一部でこのマリファナサウンド作品がもてはやされたことは残念であった。

#### X-3. 安全性を確保するセーフリスニング

安全に聴くことはオーディオにとって欠かせない必須条件である。WHO（世界保健機構）は、スマートフォンとヘッドフォンを用いたゲームなどにより世界で11億人の若者が聴覚障害を引き起こす危険性があると指摘している。スマートフォンなどポータブルプレーヤーの発展途上国を含めた世界的な普及に伴い、若年層の難聴者の急速な増加が深刻になると共に、先進国では人口の高齢化に伴い、加齢による難聴者も増えてきている。筆者は、当オーディオ協会が加害者の立場に陥ることなく、難聴者にも健常者にも親切なオーディオシステムの構築と供給に寄与することを願っている。

##### X-3.1. 筆者の経験から

筆者は、1968年だったと思うが今から50年近く前の大学院時代に、掃海艇や護衛艦の機関室の騒音測定を行なった経験がある。わずか1分間機関室に入ると、機関室を出た後、しばらく音が全く聞こえないほどの騒音であり、ここでセーフリスニングの重要性を認識した。今では大学の講義で学生に、一度聴覚障害が起こると完治は困難であるため大きな音に耳をさらさないことの重要性を訴え、大きな音の出るコンサートには行かないこと、どうしても参加する必要がある場合には、音が大きいと思ったらすぐ退場するか耳栓を使うことを薦めている。X-2.4項で取り上げたニューヨークの録音でのモニター音量も危険なレベルにあった。

ここで思い浮かぶのはスターリンとショスタコーヴィッチの間で起きた葛藤である。いわゆる社会主義リアリズムに沿った景気の良い大音量の単純な楽曲を好むスターリンの一派と、内面性も備えた楽曲を作曲し民衆に人気のあったショスタコーヴィッチは、何度もぶつかり、スターリンの一派が好む鐘、ドラをオーケストラの前方に並べた派手な交響曲を作曲し機嫌を取ったこともあった。この曲がモスクワの交響楽団によって日本で演奏されたときは、筆者も演奏会場に行ったものの演奏が始まったとたん大音量に耐えられず退場し、高い入場料を無駄にしたことを覚えている。昨年の日本オーディオ協会の音の日イベントで行われたプロ音楽録音賞の授賞式で受賞作品を聴かせていただいた時に、折角の作品でありながら音量が大きすぎ、失礼なからすぐ会場から

退出させていただいたことも記憶している。

### X-3.2. 難聴成立のメカニズム

先日セーフリスニングに関するセミナーが一般社団法人情報通信技術委員会で開催され、筆者も参加する機会を得た。このセミナーの中で国際医療福祉大学病院、耳鼻咽喉科部長、教授の中川雅文氏の講演「音響外傷による耳鳴・難聴の成立メカニズムについて」を聴く機会を得た。この講演で、同氏は音が耳に入ると蝸牛で進行波が生じ、強大音でその有毛細胞部分で振幅飽和が生じ、音圧が大きいとより高い周波数で振幅飽和が生じる。この高い周波数での振幅飽和により、有毛細胞が壊れると脳に信号が行かなくなり、低い周波数の検知能力が著しく低下し難聴が起こる。脳に信号が行かなくなった領域には老廃物が溜まり、脳内の聴覚に近接する部位の機能が低下し耳鳴、うつ、自殺などが発生する危険性があることを指摘した。高い周波数の大きな音を耳に与えることは難聴者にとってもその難聴の悪化を招き、健常者にとっても難聴の危険性が増すことになる。

本回顧録の読者から日本オーディオ協会では多くの人が高音を重視しているが、もっと低音を重視すべきとの意見も今回多くいただいた。ここで説明した難聴の成立メカニズムに従うと、低音と高音は別物ではなく、高音の強大音を加えると人によっては低音が聴こえなくなり、高音の強大音さえ加えなければ低音が聴こえる人もいるという関係にあるようである。

### X-3.3. 帯域を広げることの是非

帯域を広げれば音は良くなるという信念は、機器の特性向上を目的とするハードウェアの開発エンジニアにとって重要だと思うが、その帯域の広い音をそのまま耳に加えて良いかとは別の問題である。現状では、可聴帯域限界付近で、数%以上の混変調ひずみが発生する再生機器が存在するため、同じコンテンツを再生しても使用する再生機器によって音質が大きく変化する。折角制作したコンテンツが、より安定した音質で再生されることが望ましいことは言うまでもない。

これまで諸悪の根源とされてきた帯域を制限する道具「フィルター」について再度検討を加えておく必要があるように思われる。難聴の発生メカニズムを考えるまでもなく、人間の聴覚系はフィルターであるから外部にフィルターは不要と言ったセーフリスニングに反した乱暴な論理は許されないと思うのだが。

今から35年前の1981年、CD導入の1年前に大阪で電子機械工業会の技術大会が開催された。この大会の座長は日本オーディオ協会創立者の一人でもあった早稲田大学の伊藤毅教授が務め、筆者はフィルター他についてプレゼンテーションを行ない、これからフィルターが必要になること、そしてその音質改善に取り組むことの重要性を指摘し、フィルターの形式によって音質が変化すること、良い音質のフィルターを複数作成し5段程度同じフィルターを重ねても顕著な音質劣化が生じないレベルの音質を持つフィルターが存在するという結果を報告した。

### X-4. その他の質問

他に「メジャーでは一度録音品質が低下するとしばらくその悪い状態が続くが何故か」と言った質問もいただいた。筆者は、何とか日本の弱小レコード会社が世界的に輸出できるレコードを制作したいとの思いでデジタル録音の導入などに取り組んだだけであったが、欧米での録音作業中に、

今後の改善のためデジタル録音機を見せてくれ、その音を聴かせてくれ、テストしたいので録音機を貸してくれと言った申し出を、欧米のメジャーレコード会社や主要放送局から受けた。1974年から1977年までこのような申し出に出来る限り応じ、ニューヨークではメジャーの評価のための実験セッションまで行った。そのころ小回りのきかないメジャーはまず大きな改善改革方針を決め、あまりぶれることなくその方針に従っていた。従って一度質の低下が起こるとその挽回に時間を要した。CD発売直前になって突然デジタル録音に真剣になったというのが実情であった。

#### X-5. ずっと夢と考えられてきた音場再生の現状と将来

音場再生は、1960年代後半の4チャンネル再生が流行した時代にはじまったようであるが、50年近くを経た今日でも引き続き音場再生への取り組みを行っておられる方が、今でも複数おられることを最近になって知った。

昨年から今年にかけてそのうち何人かのリスニングルームをお訪ねし、その音に感心した。

その多くはダイナベクター社の富成氏が1992年に製品化したスーパーステレオプロセッサ SSP-5を使用していた。残念ながら筆者は聴かせていただいただけでこのプロセッサの内容について説明できるレベルの知識がもちあわせていない。

そこで筆者が思いついたのは、2012年度の日本オーディオ協会大賞を受賞したNTTグループ開発の「残響分離制御技術“Revtrina”」(参考文献13、14、15参照)の活用であり、双方の比較を行いたくなり、前号(JAS Journal 2016 Vol.56 No.4 7月号)の写真3に示した残響分離制御ユニットを自作し、複数のリスニングルームに持ち込み比較試聴を行わせていただいた。その結果はおおむね良好であり、配信等の新しい流通に生かすことが可能であることが判明した。

この残響については「最良の残響はどここのホールで得られるか知りたい」、「残響時に音程が下がるように感じるホールがあるがどうしてか」など多くの質問を読者からいただいた。

前者は、作品によって最良のホールがあり、全体としてよいホールがいくつもあるという回答しか言えない。1974年末のパリでの録音で示したパイヤールの意向はまさにそれであり、モーツァルトとバッハでは最良のホールが異なるのでそれぞれで最良のホールを使おうというのが彼の意向であった。演奏会では、曲目によって演奏会場を変えることは難しいが、録音では会場を変えることは可能であり、これは録音での魅力を出す絶好の機会でもある。後者については、「残響時の減衰特性で高音がすぐ減少し中音域が長く残り、残響時間特性に極端なバラツキを生じる場合や、残響の減衰特性に折れ曲がりが生じ残響時の音程低下を感じることもあるかもしれない」としか言いようがない。最近建築されたホールでこの残響時の音程が下がるように感じる場合があるようであるが、筆者が主に使用してきた大きな古い教会ではこの音程の低下を感じたことはない。

本稿の巻末で紹介するオーディオ協会の発売するコンテンツ「ベルリンフィルの軌跡」では、音場再生の応用例としてベルリンフィル他が演奏するカルメンの「闘牛士の歌」に残響分離制御処理を加え、以下の6種類の映像付きボーナストラックを追加した。

- 1) オリジナルの2チャンネル
- 2) 5.1チャンネルサラウンド
- 3) 客席前方の音

- 4) 客席後方の音
- 5) パソコンや小形ステレオに適した音
- 6) ヘッドフォンで聴くための音

皆様の今後の音場再生のあり方に関する評価に役立てていただければ幸いです。

今後フォーマットを工夫すれば、客席前方の音と客席後方の音を活用してサラウンドの音を生成することも可能である。

#### X-6. 今後のコンテンツ流通の可能性等

CDが登場するまでは、約25年毎に順調に改革がなされてきた音楽再生メディアであったが、CDが登場するとその改革の歩みが止まり、発売開始から35年を経た今日でも、代替メディアや代替流通手段が登場せず、昨今では音楽CDの売り上げが大幅に下がってきている。その一方で映像の高精細化などによりコンテンツの大容量化も進展している。

多品種小ロットの音楽CDでは、コンテンツ会社、販売店共に在庫負担に苦しんでいる。この在庫負担を解決する手段に配信があるが、現状ではサービスのレベルが低く顧客の満足を得られるまでに至っていないようである。

配信でのサービス性が向上すれば、配信が次世代のコンテンツ流通の主たる地位を担うことになるかもしれない。しかしながら現状はまだ過渡期にあるため、まだ評価段階にあると思われる。

このほど日本オーディオ協会より全50タイトル64時間分の映像音楽コンテンツからなる映像で巡る名演撰集「ベルリンフィルの軌跡」（株式会社ジェー・ピーの発売するJPIV-0005）を日本オーディオ協会会員の皆様に、特別価格で提供させていただくこととなった。

この「ベルリンフィルの軌跡」では、ハイビジョン映像（一部スタンダード）とオーディオファン待望のリニアPCM形式（AAC形式の供給も可）のステレオ信号と一部のコンテンツではAAC形式の5.1サラウンドの音声も1テラバイトのハードディスク上に記録されている。

短時間での書き込みが可能と言うハードディスクの特性を生かして在庫の問題の解決を図り、50タイトルを単一の記録媒体に記録したことにより数十枚の光ディスクからコンテンツを選ぶ際の検索性は格段に向上した。その上音場再生用ボーナストラックを追加し、サービス性向上のための評価も行えるようにした。

問題はプレーヤーが普及していないことにあるが、本コンテンツには1テラバイトのハードディスクに記録されたコンテンツを再生するためのプレーヤーが付属している。このプレーヤーをHDMIケーブルでお手持ちのテレビに接続するだけでハイビジョン映像と高音質音声を楽しむことができる。



再生機 iVDR プレーヤー



50タイトル64時間分の映像と音楽が記録されたハードディスク iVDR

この全50タイトル64時間分の映像音声コンテンツの曲目表を末尾に記載するので参照されたい。尚、X-5項で紹介した特典（ボーナストラック）はタイトル24“カルメンに捧ぐ”より作成した。

## X-7. おわりに

本稿では、回顧録の最終回として読者からの質問と要望を集め、応えさせていただく形をとらせていただいた。

音情報のデジタル化が始まって約半世紀を経た今日、

1. セーフリスニング、
2. 更なる音質改善、
3. より自然な音場再現、
4. 使いやすくサービス性に富んだコンテンツ流通とコンテンツ保護

以上4つの課題解決(参考文献16参照)が必要とされていると考えている。

本稿がこの4つの課題の解決に役に立てば幸いである。

## 参考文献

1. 穴澤 健明：レコーディング技術の問題点  
録音過程での問題点 ラジオ技術 1970年12月号
2. 穴澤 健明：レコーディング技術の問題点3  
S/Nストレッチャー、テープレコーダ ラジオ技術 1971年2月号
3. 穴澤 健明：レコーディング技術の問題点4  
カッティング特性他 ラジオ技術 1971年4月号
4. 穴澤 健明；「最近のヨーロッパの録音スタジオについて」  
日本音響学会誌 28巻6号（1972）
5. 穴澤 健明；特集「再生システム～リスニングルームの総合Dレンジと再生音場の追求＝録音～再生～リスニングルームの現状と問題点とその実測結果」、  
ラジオ技術 1974年8月号
6. 穴澤 健明、連載：アナログ屋のためのデジタル・オーディオ講座①  
「デジタルオーディオの基本的事柄」JAS Journal 1982年11月号
7. 穴澤 健明、連載：アナログ屋のためのデジタル・オーディオ講座②  
「デジタルオーディオの特性および音質劣化の原因となる問題点について」JAS  
Journal 1982年12月号
8. 穴澤 健明、連載：アナログ屋のためのデジタル・オーディオ講座③  
「デジタルオーディオの特性および音質劣化の原因となる問題点について」  
その2. デジタルデータの伝送からアナログ出力まで JAS Journal 1983年1月号
9. 穴澤 健明、連載：アナログ屋のためのデジタル・オーディオ講座④  
「録音系の概略とその音質改善 その1」JAS Journal 1983年1月号
10. 穴澤 健明、連載：最終回：アナログ屋のためのデジタル・オーディオ講座⑤

- 「録音系の概略とその音質改善 その2」 JAS Journal 1983年3月号
11. 穴澤 健明、連載 レコードソフトの制作現場から①～⑦ 1991年～1992年詳細略
  12. 穴澤 健明、連載 レコードソフトの制作現場から⑧  
「これからのオーディオ/ソフト・ハード：技術者の取り組むべき課題」  
～ディジタル録音実用化20周年にあたって～ JAS Journal 1992年5月号
  13. AES 日本支部例会 NTT 開発残響制御技術 “Revtrina”でのデモンストレーション  
ラジオ技術 2010年3月号 p63～6
  14. 遠藤、木下、村山、浜田、穴澤 「HIFIREVERB モノからサラウンドまでの統合化」  
JAS Journal 2011年1月号
  15. 花岡、穴澤 「業務用音場制御パネルと民生用再生システム」  
JAS Journal 2012年1月号
  16. 穴澤 健明、「人間情報と音～音情報デジタル化の半世紀=残された4つの課題」、  
Nature Interface 2015 Dec.no.065, ウェラブル環境情報ネット推進機構(NPO法人WIN)

「ベルリンフィルの軌跡」楽曲リスト (全50タイトル+特典)

(2016 JP Co., Ltd All Rights reserved Licensed through EuroArts Music International GmbH)

ヨーロッパ・コンサート		
1	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 1995
	収録日	1995年5月1日
	収録時間	1時間27分00秒
	会場	ヴェッキオ宮殿 (イタリア/フィレンツェ)
	出演者	サラ・チャン (ヴァイオリン)
	指揮者	ズービン・メータ
	1 曲目	ベートーヴェン: 「フィデリオ」より 序曲 Op. 72 b
	2 曲目	ブラッハー: パガニーニの主題による変奏曲 Op. 26
	3 曲目	パガニーニ: ヴァイオリン協奏曲 第1番 二長調 Op. 6 より
4 曲目	ストラヴィンスキー: 4場からなるバレスク「ペトルーシュカ」	
5 曲目	ドヴォルザーク: スラヴ舞曲集 第1集 Op. 46 第8番 ト短調	
2	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 1996
	収録日	1996年5月1日
	収録時間	1時間30分06秒
	会場	マリンスキー劇場 (ロシア/サンクトペテルブルク)
	出演者	アナトリー・コチェルガ (バリトン) コリヤ・ブラッハー (ヴァイオリン)
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	プロコフィエフ: バレエ音楽「ロメオとジュリエット」より
	2 曲目	ラフマニノフ: 歌劇「アレコ」より アレコのカヴァティーナ "月は高く輝く"
3 曲目	ベートーヴェン: ロマンズ 第1番 ト長調 Op. 40	
4 曲目	ベートーヴェン: ロマンズ 第2番 ヘ長調 Op. 50	
5 曲目	ベートーヴェン: 交響曲 第7番 イ長調 Op. 92	
6 曲目	チャイコフスキー: バレエ音楽「くるみ割り人形」より 花のワルツ	

3	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 1998
	収録日	1998年5月1日
	収録時間	1時間39分18秒
	会場	ヴァーサ号博物館 (スウェーデン/ストックホルム)
	出演者	スウェーデン放送合唱団 エリック・エリクソン室内合唱団 マリー・アレクシス (ソプラノ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	ワーグナー：歌劇「さまよえるオランダ人」より序曲
	2 曲目	チャイコフスキー：交響幻想曲「テンペスト」 Op. 18
4	3 曲目	ドビュッシー：「ノクチュルヌ (夜想曲)」 ◇雲 ◇祭り ◇シレーヌ (セイレーン)
	4 曲目	ヴェルディ：「4つの聖歌」 ◇アヴェ・マリア ◇スターバト・マーテル ◇聖母マリアへの讃歌 ◇テ・デウム
	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 1999
	収録日	1999年5月1日
4	収録時間	1時間34分05秒
	会場	聖マリア教会 (ポーランド/クラクフ)
	出演者	クリスティーネ・シェーファー (ソプラノ) エマニュエル・アックス (ピアノ)
	指揮者	ベルナルド・ハイティンク
	1 曲目	モーツァルト：モテット「踊れ、喜べ、汝幸いなる魂よ (エクスルターテ・ユピラーテ)」 K. 165
	2 曲目	モーツァルト：「大ミサ曲 ハ短調」 K. 427 より 聖霊によりて
	3 曲目	ショパン：ピアノ協奏曲 第2番 ヘ短調 Op. 21
	4 曲目	シューマン：交響曲 第1番 変ロ長調 Op. 38 「春」
5	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2001
	収録日	2001年5月1日
	収録時間	1時間42分02秒
	会場	アヤ・イリニ教会 (トルコ/イスタンブール)
	出演者	エマニュエル・バユ (フルート)
	指揮者	マリス・ヤンソンス
	1 曲目	ハイドン：交響曲 第94番 ト長調 「驚愕」
	2 曲目	モーツァルト：フルート協奏曲 第2番 ニ長調 K. 314
6	3 曲目	ベルリオーズ：「幻想交響曲」 Op. 14 ◇1. 夢想と情熱 ◇2. 舞踏会 ◇3. 田園の風景 ◇4. 断頭台への行進 ◇5. サバト (魔女の夜宴) の夢
	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2002
	収録日	2002年5月1日
	収録時間	1時間51分28秒
6	会場	マッシモ劇場 (イタリア/パレルモ)
	出演者	ギル・シャハム (ヴァイオリン)

	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	ベートーヴェン：「エグモント」より 序曲
	2 曲目	ブラームス：ヴァイオリン協奏曲 二長調 Op. 77
	3 曲目	ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 Op. 95 「新世界より」
	4 曲目	ヴェルディ：歌劇「シチリア島の夕べの祈り」より 序曲
7	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2005
	収録日	2005年5月1日
	収録時間	1時間43分20秒
	会場	ハンガリー国立歌劇場（ハンガリー／ブダペスト）
	出演者	レオニダス・カヴァコス（ヴァイオリン）
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	ベルリオーズ：序曲「海賊」 Op. 21
	2 曲目	バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第2番
3 曲目	ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」	
8	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2006
	収録日	2006年5月1日
	収録時間	1時間37分51秒
	会場	エステート劇場（チェコ／プラハ）
	出演者	ラデク・バボラーク（ホルン）
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
	1 曲目	モーツァルト：交響曲 第35番 二長調 K. 385 「ハフナー」
	2 曲目	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第22番 変ホ長調 K. 482
3 曲目	モーツァルト：ホルン協奏曲 第1番 二長調 K. 412/514	
4 曲目	モーツァルト：交響曲 第36番 ハ長調 K. 425 「リンツ」	
9	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2008
	収録日	2008年5月1日
	収録時間	1時間31分05秒
	会場	チャイコフスキー記念国立モスクワ音楽院（ロシア／モスクワ）
	出演者	ヴァディム・レーピン（ヴァイオリン）
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	ストラヴィンスキー：3楽章の交響曲
	2 曲目	ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲 第1番 ト短調 Op. 26
3 曲目	ベートーヴェン：交響曲 第7番 イ長調 Op. 92	
10	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2009
	収録日	2009年5月1日
	収録時間	1時間36分59秒
	会場	サン・カルロ劇場（イタリア／ナポリ）
	出演者	ヴィオレッタ・ウルマーナ（ソプラノ）
	指揮者	リッカルド・ムーティ
	1 曲目	ヴェルディ：歌劇「運命の力」より 序曲
	2 曲目	マルトゥッチ：追憶の歌（歌詞 R. E. パリアーラ）
3 曲目	シューベルト：交響曲 第8番 ハ長調 D. 944 「大交響曲」	
11	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2010
	収録日	2010年5月1日
	収録時間	1時間29分28秒
	会場	シェルドニアン劇場（イギリス／オックスフォード）

	出演者	アリサ・ワイラースタイン (チェロ)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
	1 曲目	ワーグナー：「ニュルンベルクのマイスタージンガー」より第3幕への前奏曲
	2 曲目	エルガー：チェロ協奏曲 ホ短調 Op. 85
	3 曲目	ブラームス：交響曲 第1番 ハ短調 Op. 68
12	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2011
	収録日	2011年5月1日
	収録時間	1時間36分40秒
	会場	テアトロ・レアル (スペイン/マドリッド)
	出演者	フアン・マヌエル・カニサレス (ギター)
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	シャブリエ：狂詩曲「スペイン」
	2 曲目	ロドリゴ：アランフェス協奏曲
	3 曲目	ラフマニノフ：交響曲 第2番 ホ短調 Op. 27
13	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2013
	収録日	2013年5月1日
	収録時間	1時間34分10秒
	会場	プラハ城スペイン・ホール (チェコ/プラハ)
	出演者	マグダレーナ・コジェナー (メゾソプラノ)
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	ヴォーン・ウィリアムズ：トマス・タリスの主題による幻想曲
	2 曲目	ドヴォルザーク：「聖書の歌」 Op. 99 より ◇黒雲と闇とは主のまわりにあり ◇神よ、わが祈りを聞きたまえ ◇主はわが羊飼い ◇神よ、神よ、新しき歌を歌わん ◇バビロン川のほとりで ◇主よ、われを顧みたまえ ◇山に向かいてわれ眼を上げ ◇主に向かつて新しき歌を歌え
3 曲目	ベートーヴェン：交響曲 第6番 へ長調 Op. 68 「田園」 ◇田舎に着いて、はればれとした気分がよみがえる ◇小川のほとりの情景 ◇野民たちの楽しい集い ◇雷雨、嵐 ◇牧人の歌 嵐の後の喜ばしい感謝に満ちた気分	
14	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2014
	収録日	2014年5月1日
	収録時間	1時間42分33秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
	1 曲目	ニコライ：歌劇「ウィンザーの陽気な女房たち」より 序曲
	2 曲目	エルガー：交響的習作「ファルススタッフ」 Op. 68
3 曲目	チャイコフスキー：交響曲 第5番 ホ短調 Op. 64	
15	タイトル	ヨーロッパ・コンサート 2015
	収録日	2015年5月1日
	収録時間	1時間31分18秒
	会場	メガロ・ムシキス (アテネコンサートホール) (ギリシャ/アテネ)

	出演者	レオニダス・カヴァコス (ヴァイオリン)
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	ロッシーニ：歌劇「セミラーミデ (セミラミス)」より 序曲
	2 曲目	シベリウス：ヴァイオリン協奏曲 二短調 Op. 47
	3 曲目	J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・ソナタ 第3番 ハ長調 BWV. 1005 より 「ラルゴ」
	4 曲目	シューマン：交響曲 第3番 変ホ長調 Op. 97 「ライン」
<b>ヴァルトビューネ・コンサート</b>		
16	タイトル	ヴァルトビューネ 1993 ロシアン・ナイト
	収録日	1993年6月20日
	収録時間	1時間37分59秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	小澤 征爾
	1 曲目	リムスキー=コルサコフ：ロシアの復活祭序曲「輝かしい日曜日」
	2 曲目	チャイコフスキー：バレエ音楽「くるみ割り人形」 ◇小さな序曲 ◇行進曲 ◇金平糖の精の踊り ◇ロシアの踊り トレパーク ◇アラビアの踊り ◇中国の踊り ◇葦笛の踊り ◇花のワルツ
	3 曲目	ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より ポロヴェツ人の踊り (だったん人の踊り)
	4 曲目	ストラヴィンスキー：バレエ音楽「火の鳥」
	5 曲目	チャイコフスキー：大序曲「1812年」
6 曲目	ハチャトゥリアン：バレエ音楽「ガイヌス」より 剣の舞	
7 曲目	チャイコフスキー：「弦楽合奏のセレナード」よりワルツ	
8 曲目	シュトラウス I：ラデツキー行進曲	
9 曲目	リンケ：ベルリンの風	
17	タイトル	ヴァルトビューネ 1995 アメリカン・ナイト
	収録日	1995年6月25日
	収録時間	1時間25分20秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	出演者	ウェイン・マーシャル (ピアノ) ウィラード・ホワイト (バス・バリトン/ボーギー) シンシア・ヘイモン (ソプラノ/ベース) デーモン・エヴァンス (テノール/スポーティン・ライフ) シンシア・クラーク (ソプラノ/セリーナ) マリエッタ・シンプソン (メゾソプラノ/マリア) ダニエル・ワシントン (バリトン/クラウン) ベルリン放送合唱団
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	バーンスタイン：「キャンディード」より 序曲
	2 曲目	ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー
	3 曲目	バーンスタイン：前奏曲、フーガとリフ
	4 曲目	ガーシュウィン：歌劇「ボーギーとベス」より抜粋
5 曲目	ガーシュウィン：やさしい伴侶を	
6 曲目	ガーシュウィン：アイ・ガット・リズム	
7 曲目	リンケ：ベルリンの風	

18	タイトル	ヴァルトビューネ 1996 イタリアン・ナイト
	収録日	1996年6月30日
	収録時間	1時間47分04秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	出演者	アンジェラ・ゲオルギュー (ソプラノ) セルゲイ・ラーリン (テノール) ブリン・ターフェル (バリトン) ベルリン放送合唱団
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	ヴェルディ：歌劇「ナブッコ」より 序曲
	2 曲目	ヴェルディ：歌劇「ナブッコ」より ヘブライの捕虜たちの合唱 "行け、わが思いよ・・・"
	3 曲目	ベッリーニ：歌劇「カプレーティとモンテッキ」より ジュリエッタのレチタティーヴォとアリア "今、私は婚礼の衣装を着せられ・・・"
	4 曲目	ヴェルディ：歌劇「ドン・カルロ」より ドン・カルロとロドリゴの二重唱 "彼だ！王子！…我らの胸に友情を"
	5 曲目	ヴェルディ：歌劇「トロヴァトーレ」より アンヴィル・コーラス "見ろ！夜霧がはれて"
	6 曲目	ロッシーニ：歌劇「ウィリアム・テル」より 序曲
	7 曲目	ヴェルディ：歌劇「運命の力」より 序曲
	8 曲目	ヴェルディ：歌劇「仮面舞踏会」より リッカルドのアリア "たぶん彼女は家に着いて"
	9 曲目	ヴェルディ：歌劇「オテロ」より 火の合唱 "喜びの炎よ"
10 曲目	ヴェルディ：歌劇「オテロ」より イアーゴの信条 "無慈悲な神の命ずるままに"	
11 曲目	ヴェルディ：歌劇「オテロ」より デズデモナとオテロの二重唱 "暗い夜のとばりが下り"	
12 曲目	ヴェルディ：歌劇「アイダ」より 凱旋行進曲と合唱 "エジプトの栄光"	
13 曲目	ヴェルディ：歌劇「シチリア島の夕べの祈り」より 序曲	
14 曲目	ロッシーニ：歌劇「セビリアの理髪師」より 序曲	
15 曲目	リンケ：クラウス・ヴァレンドルフ編曲 「ベルリンの風」	
19	タイトル	ヴァルトビューネ 2003 ガーシュウィン・ナイト
	収録日	2003年6月29日
	収録時間	1時間49分57秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	出演者	マーカス・ロバーツ・トリオ (ジャズ演奏) マーカス・ロバーツ (ピアノ) ローランド・ゲリン (ベース) ジェイソン・マルサリス (ドラムス)
	指揮者	小澤 征爾
	1 曲目	ガーシュウィン：パリのアメリカ人
	2 曲目	ガーシュウィン：ラブソディ・イン・ブルー
3 曲目	ガーシュウィン：ピアノ協奏曲 ヘ調	
4 曲目	マーカス・ロバーツ：コール・アフター・ミッドナイト	
5 曲目	ガーシュウィン：ストライク・アップ・ザ・バンド	
6 曲目	ガーシュウィン：アイ・ガット・リズム	
7 曲目	リンケ：ベルリンの風	
20	タイトル	ヴァルトビューネ 2007 ラブソディ
	収録日	2007年6月17日
	収録時間	1時間45分01秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	出演者	スティーヴン・ハフ (ピアノ) ヴェンツェル・フックス (クラリネット)

	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	シャブリエ：狂詩曲「スペイン」
	2 曲目	ディーリアス：ブリッグの定期市 ―イギリス狂詩曲
	3 曲目	ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 Op. 43
	4 曲目	モンポウ：「子供の情景」より 庭のおとめたち
	5 曲目	ドヴォルザーク：スラヴ狂詩曲 Op. 45 第1番 二長調
	6 曲目	ドビュッシー：クラリネットのための第1狂詩曲
	7 曲目	エネスク：ルーマニア狂詩曲 第1番 イ長調 Op. 11
	8 曲目	プロコフィエフ：組曲「3つのオレンジへの恋」より 王子と王女
	9 曲目	プロコフィエフ：組曲「3つのオレンジへの恋」より 行進曲
	10 曲目	リンケ：ベルリンの風
21	タイトル	ヴァルトビューネ 2010 愛の夜
	収録日	2010年6月27日
	収録時間	2時間05分43秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
	出演者	ルネ・フレミング (ソプラノ)
	指揮者	イオン・マリン
	1 曲目	ムソルグスキー：交響詩「禿山の一夜」
	2 曲目	ドヴォルザーク：歌劇「ルサルカ」より 月に寄せる歌
	3 曲目	ハチャトゥリアン：バレエ音楽「スパルタクス」より スパルタクスとフリージア
	4 曲目	R. シュトラウス：歌劇「カプリッチョ」Op. 85 より 明日のお昼の11時に
	5 曲目	ワーグナー：歌劇「リエンツィ」より 序曲
	6 曲目	コルンゴルト：歌劇「死の都」より "私を包む幸福よ"
	7 曲目	R. シュトラウス：「8つの歌」Op. 10 より 第1曲「献呈」
	8 曲目	エルガー：愛のあいさつ Op. 12
	9 曲目	プッチーニ：歌劇「ラ・ボエーム」より ミミの別れ
	10 曲目	レオンカヴァッロ：歌劇「ラ・ボエーム」より ムゼッタの口もとから流れ出る美しい歌の調べ
11 曲目	レオンカヴァッロ：歌劇「ラ・ボエーム」より ミミ・ピンソンは、金髪娘	
12 曲目	プッチーニ：歌劇「トゥーランドット」より 氷のような姫君の心も	
13 曲目	チャイコフスキー：幻想的序曲「ロメオとジュリエット」	
14 曲目	ディニク：ホラ・スタッカート	
15 曲目	プッチーニ：歌劇「ジャンニ・スキッキ」より 私のいとしいお父さん	
16 曲目	リンケ：ベルリンの風	
22	タイトル	ヴァルトビューネ 2011 フェリーニ、ジャズ・アンド・コー
	収録日	2011年8月23日
	収録時間	1時間45分25秒
	会場	ヴァルトビューネ (ドイツ/ベルリン)
1 曲目	指揮者	リッカルド・シャイー
		ショスタコーヴィチ：「ジャズ・バンドのための組曲 第2番」 ◇行進曲 ◇リリック・ワルツ ◇ダンス1 ◇ワルツ1 ◇小さなポルカ ◇ワルツ2 ◇ダンス2 ◇フィナーレ
2 曲目	ニーノ・ロータ：組曲「道」	

3 曲目	レスピーギ：交響詩「ローマの噴水」 ◇夜明けのジュリアの谷の噴水 ◇朝のトリトンの噴水 ◇昼のトレヴィの噴水 ◇たそがれのメディチ荘の噴水	
4 曲目	レスピーギ：交響詩「ローマの松」 ◇ボルゲーゼ荘の松 ◇カタコンベ付近の松 ◇ジャニコロの松 ◇アッピア街道の松	
5 曲目	ショスタコーヴィチ：組曲「ムツェンスク郡のマクベス夫人」	
6 曲目	レスピーギ：バレエ音楽「シバの女王ベルキス」より 戦いの踊り	
7 曲目	リンケ：ベルリンの風	
<b>ジルヴェスター・コンサート</b>		
23	タイトル	ガラ・フロム・ベルリン 1996 舞曲とジブシーの調べ
	収録日	1996年12月31日
	収録時間	1時間12分52秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	出演者	マキシム・ヴェンゲーロフ（ヴァイオリン） スウェーデン放送合唱団 シュテファン・ドール（ホルン） マリー=ピエール・ラングラメ（ハープ）
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第1番 ト短調
	2 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第10番 ヘ長調
	3 曲目	ブラームス：ジブシーの歌 Op. 103
	4 曲目	ラヴェル：ツイガース
	5 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第7番 イ長調
	6 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第17番 嬰へ短調
	7 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第21番 ホ短調
8 曲目	ブラームス：ハープは鳴り響く	
9 曲目	ブラームス：ワルツ集「愛の歌」 Op. 52 より8曲	
10 曲目	ラヴェル：ラ・ヴァルス	
11 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第5番	
12 曲目	ベルリオーズ：「ファウストの劫罰」より ハンガリー行進曲（ラコーツィ行進曲）	
24	タイトル	ガラ・フロム・ベルリン 1997 カルメンに捧ぐ
	収録日	1997年12月31日
	収録時間	1時間31分48秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	出演者	アンネ=ゾフィー・フォン・オッター（メゾソプラノ） ロベルト・アラニャ（テノール） プリン・ターフェル（バリトン） ギル・シャハム（ヴァイオリン） ミハイル・プレトニョフ（ピアノ） オルフェオン・ドノスティアラ（合唱） 南チロル児童合唱団
指揮者	クラウディオ・アバド	
1 曲目	ビゼー：歌劇「カルメン」より ◇前奏曲	
2 曲目	◇ハバネラ（恋は野の鳥）	

	3 曲目	◇闘牛士の歌
	4 曲目	◇にぎやかな楽の調べ
	5 曲目	◇花の歌
	6 曲目	◇合唱と情景
	7 曲目	ラフマニノフ：パガニーニの主題による狂詩曲 Op. 43
	8 曲目	サラサーテ：カルメン幻想曲 Op. 25
	9 曲目	ラヴェル：「スペイン狂詩曲」 ◇夜への前奏曲 ◇マラゲーニャ ◇ハバネラ ◇祭り
	10 曲目	ファリヤ：バレエ音楽「恋は魔術師」より 火祭りの踊り
	11 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第1番 ト短調
	12 曲目	ブラームス：ハンガリー舞曲集 第5番 ト短調
25	タイトル	ガラ・フロム・ベルリン 1998 愛と憧れの歌
	収録日	1998年12月31日
	収録時間	1時間29分10秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	出演者	ミレツラ・フレニ（ソプラノ） クリスティーネ・シェーファー（ソプラノ） マルセロ・アルバレス（テノール） サイモン・キーンリーサイド（バリトン）
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」 K. 492 より 序曲
	2 曲目	モーツァルト：歌劇「フィガロの結婚」 K. 492 より "愛の歓びよ早く来い"
	3 曲目	モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」 K. 527 より セレナード"窓辺においで"
	4 曲目	モーツァルト：歌劇「魔笛」 K. 620 より "恋を知る男たちは"
	5 曲目	モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」 K. 527 より 酒の歌 "酒がまわったら"
	6 曲目	モーツァルト：歌劇「ドン・ジョヴァンニ」 K. 527 より "手をとりあって"
	7 曲目	ビゼー：「アルルの女」より カリヨン
	8 曲目	ビゼー：「アルルの女」より ファランドール
	9 曲目	ロッシーニ：歌劇「泥棒かささぎ」より 序曲
	10 曲目	ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より "それは心の太陽" ~ "さようなら"
	11 曲目	ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より "慕わしい人の名は"
12 曲目	ヴェルディ：歌劇「リゴレット」より 女心の歌 "風の中の羽のように"	
13 曲目	ヴェルディ：歌劇「仮面舞踏会」より "お前こそ心を汚すもの"	
14 曲目	ベルリオーズ：序曲「ローマの謝肉祭」	
15 曲目	チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」より ポロネーズ	
16 曲目	チャイコフスキー：歌劇「エフゲニー・オネーギン」より タチヤーナの手紙の場面	
17 曲目	ヴェルディ：歌劇「椿姫」より 乾杯の歌 "陽気に楽しく杯をくみ交わそう"	
26	タイトル	ガラ・フロム・ベルリン 2006
	収録日	2006年12月31日
	収録時間	1時間31分16秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	出演者	内田光子（ピアノ） カミラ・ニルンド（ソプラノ／元帥婦人） ローラ・エイキン（ソプラノ／ゾフィー） マグダレーナ・コジェナー（メゾソプラノ／オクタヴィアン） デイル・デュージング（バリトン／ファーニナル）
	指揮者	サイモン・ラトル

	1 曲目	R. シュトラウス：交響詩「ドン・ファン」 Op. 20
	2 曲目	モーツァルト：ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466
	3 曲目	R. シュトラウス：楽劇「ばらの騎士」第3幕より ワルツ、三重唱とフィナーレ
	4 曲目	J. シュトラウス II：ポルカ・シュネル「ハンガリー万歳」 Op. 332
	5 曲目	ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集 第1集 Op. 46 第8番 ト短調
27	タイトル	ガラ・フロム・ベルリン 2007
	収録日	2007年12月31日
	収録時間	1時間30分35秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	指揮者	サイモン・ラトル
	1 曲目	ボロディン：歌劇「イーゴリ公」より ポロヴェツ人の踊り（だったん人の踊り）
	2 曲目	ボロディン：交響曲 第2番 ロ短調
	3 曲目	ムソルグスキー：歌劇「ホヴァーンシチナ」より 前奏曲「モスクワ川の夜明け」
	4 曲目	ムソルグスキー：組曲「展覧会の絵」（ラヴェルによる管弦楽編） ◇プロムナード ◇小人 ◇プロムナード ◇古城 ◇プロムナード ◇テュイルリー ◇ブイドロ ◇プロムナード ◇卵の殻をつけたひなどりのバレエ ◇2人のユダヤ人 ◇リモージュの市場 ◇カタコンブ（ローマ時代の墓） ◇死せる言葉による死者への呼びかけ ◇鶏の足の上に建っている小屋 ◇キエフの大きな門
	5 曲目	ショスタコーヴィチ：バレエ組曲「黄金時代」 Op. 22a より 舞曲
<b>バレンボイム モーツァルト・ピアノ協奏曲選</b>		
28	タイトル	ピアノ協奏曲 第20番 二短調 K. 466
	収録年	1988年
	収録時間	31分23秒
	会場	シーメンス・ヴィラ（ドイツ／ベルリン）
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
29	タイトル	ピアノ協奏曲 第21番 ハ長調 K. 467
	収録年	1986年
	収録時間	30分49秒
	会場	シーメンス・ヴィラ（ドイツ／ベルリン）
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
30	タイトル	ピアノ協奏曲 第22番 変ホ長調 K. 482
	収録年	1989年
	収録時間	36分19秒
	会場	シーメンス・ヴィラ（ドイツ／ベルリン）
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
31	タイトル	ピアノ協奏曲 第23番 イ長調 K. 488
	収録年	1989年
	収録時間	27分56秒
	会場	シーメンス・ヴィラ（ドイツ／ベルリン）

	指揮者	ダニエル・バレンボイム
32	タイトル	ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K. 491
	収録年	1988年
	収録時間	32分34秒
	会場	シーメンス・ヴィラ (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
33	タイトル	ピアノ協奏曲 第25番 ハ長調 K. 503
	収録年	1988年
	収録時間	31分46秒
	会場	シーメンス・ヴィラ (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
34	タイトル	ピアノ協奏曲 第26番 二長調 K. 537 「戴冠式」
	収録年	1989年
	収録時間	31分58秒
	会場	シーメンス・ヴィラ (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
35	タイトル	ピアノ協奏曲 第27番 変ロ長調 K. 595
	収録年	1988年
	収録時間	32分50秒
	会場	シーメンス・ヴィラ (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ダニエル・バレンボイム
<b>アバド ベートーヴェン交響曲選</b>		
36	タイトル	交響曲 第1番 ハ長調 Op. 21
	収録年	2001年2月
	収録時間	30分20秒
	会場	聖チエチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
37	タイトル	交響曲 第2番 二長調 Op. 36
	収録年	2001年2月
	収録時間	37分58秒
	会場	聖チエチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
38	タイトル	交響曲 第3番 変ホ長調 Op. 55 「英雄」 (エロイカ)
	収録年	2001年2月
	収録時間	53分45秒
	会場	聖チエチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
39	タイトル	交響曲 第4番 変ロ長調 Op. 60
	収録年	2001年2月
	収録時間	38分29秒
	会場	聖チエチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
40	タイトル	交響曲 第5番 ハ短調 Op. 67 「運命」
	収録年	2001年2月
	収録時間	39分43秒
	会場	聖チエチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)

	指揮者	クラウディオ・アバド
41	タイトル	交響曲 第6番 ヘ長調 Op. 68「田園」
	収録年	2001年2月
	収録時間	43分56秒
	会場	聖チェチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
42	タイトル	交響曲 第8番 ヘ長調 Op. 93
	収録年	2001年2月
	収録時間	31分32秒
	会場	聖チェチーリア音楽院ホール (イタリア/ローマ)
	指揮者	クラウディオ・アバド
43	タイトル	交響曲 第9番 ニ短調 Op. 125「合唱付き」
	収録日	
	収録時間	
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	出演者	カリタ・マッティラ (ソプラノ) ヴィオレッタ・ウルマーナ (メゾソプラノ) トーマス・モーザー (テノール) アイケ・ヴィルム・シュルテ (バリトン) スウェーデン放送合唱団 エリック・エリクソン室内合唱団
	指揮者	クラウディオ・アバド
<b>マゼール 言葉のない《リング》</b>		
44	タイトル	～ロリン・マゼール 指揮&交響的合成～ ワーグナー：言葉のない《リング》 2000
	収録日	2000年10月18日
	収録時間	1時間15分10秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	ロリン・マゼール
	曲目	ロリン・マゼール編 言葉のない《リング》
<b>チェリビダッケ 『再会コンサート』</b>		
45	タイトル	セルジュ・チェリビダッケ 指揮 ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調
	収録日	1992年3月31日
	収録時間	1時間35分14秒
	会場	シャウシュピールハウス (ドイツ/ベルリン)
	指揮者	セルジュ・チェリビダッケ
	曲目	ブルックナー：交響曲 第7番 ホ長調
<b>名演セレクション</b>		
46	タイトル	～クルト・ザンデルリンク 指揮～ サン=サーンス、チャイコフスキー 1992
	収録日	1992年6月8日
	収録時間	1時間23分00秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	出演者	イエフィム・ブロンフマン (ピアノ)
	指揮者	クルト・ザンデルリンク
	1曲目	サン=サーンス：ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 Op. 22

	2 曲目	スカララッティ：ソナタ ハ短調 K.11 (L. 352)
	3 曲目	チャイコフスキー：交響曲 第4番 ヘ短調 Op. 36
47	タイトル	クラウディオ・アバド 指揮 カラヤン没後10年追悼コンサート 1999
	収録日	1999年7月19日
	収録時間	1時間02分13秒
	会場	ザルツブルク大聖堂 (オーストリア/ザルツブルク)
	出演者	ラヘル・ハルニツシュ (ソプラノ) カリタ・マッティラ (ソプラノ) サラ・ミンガルド (メゾソプラノ) ミヒヤエル・シャーデ (テノール) ブリン・ターフェル (バス・バリトン) スウェーデン放送合唱団
	指揮者	クラウディオ・アバド
	1 曲目	モーツァルト：聖墓の音楽 K. 42
	2 曲目	モーツァルト：証聖者の荘厳な晩課 (ヴェスプレ) K. 339
	3 曲目	モーツァルト：レクイエム ニ短調 K. 626
48	タイトル	～ピエール・ブーレーズ指揮～ バルトーク 2004
	収録日	2004年3月18日
	収録時間	1時間43分00秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	出演者	ギドン・クレーメル (ヴァイオリン) ユーリ・バシュメット (ヴィオラ)
	指揮者	指揮 ピエール・ブーレーズ
	1 曲目	バルトーク：舞踊組曲 Sz.77
	2 曲目	バルトーク：ヴァイオリン協奏曲 第1番 Sz. 36
	3 曲目	バルトーク：ヴィオラ協奏曲 Sz. 120
	4 曲目	バルトーク：バレエ音楽「不思議なマンダリン (中国の不思議な役人)」 Sz. 73
49	タイトル	～小澤征爾 指揮/アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)～ カラヤン生誕100年記念コンサート 2008
	収録日	2008年1月28日
	収録時間	1時間52分09秒
	会場	ウィーン楽友協会 (ウィーン/オーストリア)
	出演者	アンネ=ゾフィー・ムター (ヴァイオリン)
	指揮者	小澤征爾
	1 曲目	ベートーヴェン：ヴァイオリン協奏曲 ニ長調 Op. 61
	2 曲目	J. S. バッハ：無伴奏ヴァイオリン・パルティータ 第2番 ニ短調 BWV. 1004 より 「サラバンド」
	3 曲目	チャイコフスキー：交響曲 第6番 ロ短調 Op. 74 「悲愴」
50	タイトル	～サイモン・ラトル指揮/ホアキン・アチューカロ (ピアノ)～ スペインの庭の夜 2010
	収録日	2010年10月7日
	収録時間	27分31秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー (ドイツ/ベルリン)
	出演者	ホアキン・アチューカロ (ピアノ)
	指揮者	サイモン・ラトル
	曲目	交響的印象「スペインの庭の夜」
特典		

51	タイトル	～カラヤン指揮～ベートーヴェン「第九」 1977
	収録日	1977年12月31日
	収録時間	1時間09分34秒
	会場	ベルリン・フィルハーモニー（ドイツ／ベルリン）
	出演者	アンナ・トモワ＝シントウ（ソプラノ） アグネス・バルツァ（アルト） ルネ・コロ（テノール） ジョゼ・ヴァン・ダム（バス、バリトン） ベルリン・ドイツ・オペラ合唱団
	指揮者	ヘルベルト・フォン・カラヤン
	曲目	ベートーヴェン：交響曲 第9番 二短調 Op. 125 「合唱付き」